

平成28年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：ナシ黒星病 (No. 10)

平成28年5月12日
鳥取県病害虫防除所

表1 病落葉からの子のう胞子飛散状況 (調査地点：鳥取県園芸試験場)

単位：個

月・半旬	平成28年	平成27年	平年 (H18~27)
3・5	0	—	—
3・6	0	0	0
4・1	0	0	0.7
4・2	0	1	2.3
4・3	0	6	11.6
4・4	0	4	4.9
4・5	1	0	3.2
4・6	0	0	10.1
5・1	0	2	5.6
5・2	0	0	8.2
5・3		4	2.3
5・4		1	1.1
5・5		0	0.6
5・6		0	0.3

注) —は欠側

表2 果(花)そう基部病斑からの分生子飛散状況
(調査地点：鳥取県園芸試験場)

単位：個

月・半旬	平成28年	平成27年	平年 (H18~27)
3・5	0.3	—	—
3・6	2.4	12.5	12.7
4・1	8.4	27.4	6.9
4・2	5.7	18.8	4.7
4・3	0	25.7	13.3
4・4	2.0	6.2	6.2
4・5	10.1	*	2.3
4・6	19.8	*	3.3
5・1	0.8	0	6.2
5・2	9.8	*	142.1
5・3		0	5.2
5・4		2.2	13.0
5・5		*	67.9
5・6		0.9	5.6

注) —は欠側。*は無降水のため調査未実施。

<情報の内容> 5月第2半旬調査結果

- ・病落葉からの子のう胞子の飛散は、認められなかった。
- ・花そう基部からの分生子の飛散数は、平成18年(過去10年で1番多かった)に次いで多くなっている。

<参考>

・子のう胞子採集方法
病落葉(前年採取)上に設置した静置式胞子採集器内にグリセリン膠(にかわ)を塗布したスライドガラスを静置(24時間)し、スライドガラスに付着した胞子数を調査した。

・分生胞子採集方法
雨滴法(ロートを罹病した腋花芽の下に設置)により採取した雨滴中の胞子数を降雨日ごとに調査した。